

第6学年1組 道徳指導案

指導者

1 主題名 6年生の責任 4 - ( 1 ) 責任

2 主題設定の理由

(1) ねらいとする価値について

内容項目4 - ( 1 ) は、「身近な集団に進んで参加し、自分の役割を自覚し、協力して主体的に責任を果たす。」である。ここでは、集団の活動に積極的に参加し、その中での自分の位置や役割を自覚して責任を果たし、主体的に協力できるよう指導することが重要である。

そのために、学校での係活動やクラブ活動、遊び仲間や各種少年団体など、自分の立場や全体の動きを自覚できる小集団での活動に積極的に参加できるようにしていく必要がある。それらを通して自分の役割と責任を自覚し、役に立つことを成し遂げることによって主体的に責任を果たせるよう指導することが大切である。

6年生の発達段階を考えると、それぞれが自分の役割は理解できている。自分の立場を集団や社会のうちに置いて考え、自分の行動を下級生や集団、地域などのかかわりから自己をとらえることにより、児童は価値の実践に向かって努力しようとする心をもつと考える。

(2) 児童の実態及びかかわりからの自己の気付きの分析(男子16人、女子10人、計26人)

児童は登校班や委員会、表1 意識調査(6年1組26人6月24日実施)

クラブ、縦割り班など様々な場面でリーダーとなり自己の責任を自覚し果たそうとしている。そこで、特に、トラブルの多い登校班での責任に対する意識調査を行った。学級の約半数の児童は、責任をあまり果たしていないとふり返った。しかし、その理由に、下級生の自分勝手な行動を半数の児童が挙げている。これを行行動の観察や発達段階から分析すると、責任を果たそうという気持ちはあるが、他者理解が足りずに自己中心的な行動や考えにとどまってしまうことがわかる。

1. 登校班の責任に対する自分の姿のふり返り		人数(人)
回答	ア責任を果たしていないな	5
	イときどき責任を果たしていないな	9
	ウときどき責任を果たしていると思う	8
	エよく責任を果たしていると思う	4
2. 責任を果たすことに対する挫折の理由(複数回答)		人数(人)
回答	ア下級生が言うことをきいてくれないから	12
	イ悪くなくても6年生の責任になってしまうから	7
	ウ同じ6年生も協力してくれないから	2
	エ責任は分かっているが面倒くさいと思う時もあるから	6
	オその他	5
3. 責任を果たそうするときの自分の考え(複数回答)		人数(人)
回答	ア大変だが、責任を果たすことは大切だ	11
	イ下級生のためにもがんばろう	3
	ウ今までの先輩も頑張ってきたことだからがんばろう	5
	エ最高学年として下級生によい伝統を伝えよう	4
	オ最高学年としてみんなのため学校のためにがんばろう	4
	カ自分をみがくためにがんばろう	2
	キその他	2

更に、問2のイと回答し

た児童は、自律しようとしているが、他者理解が足りないため価値を実践する意欲を失ってしまったと見られる。

また、問3のイ、ウ、エ、オと回答した児童は、他の人や集団とのかかわりから自分を見つめる目が育ってきていることがわかる。

これらのことから、体験や日常生活での気付きを、道徳の時間で更に、道徳性を発展させるかかわりの視点から考えることによって道徳的価値の自覚を深めることが大切であると考え。特に、他者理解からの発問を工夫したり、活動を工夫したりして、児童の共感的な見方を深めていきたいと考える。また、話し合いで深めた道徳的価値の自覚を更に、終末で自分の心の中で見つめ直し、様々かかわりから在りたい自分の姿に気付かせたい。そのために、自己評価を活用し道徳的価値の自覚の深化を図っていきたい。

また、特に、厳しい自己評価をしている児童については、保護者の質問紙によるアンケートや下級生や友だちの相互評価や教師の支援を通して自分によい感情をもてるようにしていきたい。

(3) 資料について(資料名「6年生の責任」児童作文)

本資料は、1学期の途中で書いた学級の児童の作文である。筆者は、登校班の班長として下級生の面倒をみているが、思い通りにならず、下級生の態度に腹を立てる。委員会やクラブ活動でも、6年生だけ注意を受け、責任を果たす意欲が薄らいでしまう様子が描かれている。

下級生をまとめられなかったり、うまくまとめられたりする自分に一喜一憂しながらも、去年の6年生の姿を思い出し、在りたい自分の姿に気付いていくまでが書かれている。

この作文には、学級の児童全員が体験し直面している題材として、筆者の心の動きが表現されているため、児童も実感を伴って共感的に理解できると思われる。また、筆者の心が大きく動いた経緯があまり詳しく書かれていない。これは、児童が自分自身の心と重ねて考えることができるため、児童にねらいとする価値を十分に考えさせられると考える。身近な友だちの作文に書かれている考えに、今の自分を重ね合わせ、自分の心にも同様の在りたい自分がいることに気付かせたい。

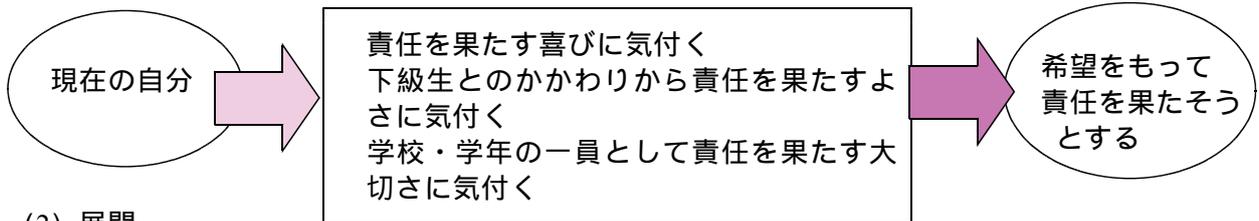
3 研究の主題に迫るために(事前・事後を含む)

	児童の活動	振り返り活動	かかわりからありたい自己の 気付き	深まり
事前 体験・ 日常生活	1. 1学期の目標設定【学級活動】 2. 登校班 <span style="border: 1px solid black; padding: 2px;">登校班</span> 3. 委員会・クラブ活動 4. 縦割り班活動 【特別活動】  自己評価 (自分に気づく) ねらい: 児童がかかわりの視点から日常生活における現在の自分の姿や心の中の気持ちに気付く	・心のファイル ・作文	<ul style="list-style-type: none"> <li>・登校班の班長の苦労</li> <li>・友だちのがんばり</li> <li>・自分の役割の大変さ</li> <li>・みんなに迷惑をかけないように責任を果たした</li> <li>・責任を果たすと気持ちがいい</li> <li>・6年生の責任は重い</li> <li>・悔しい</li> </ul>	自分と様々なかかわりの気付き・在りたい自分の気付き・視点の広がり
本 時	5. 自分見つめ 「責任って」 保護者の評価 ねらい: 保護者から見た児童の姿を知り課題意識をもつ  自己評価 (自分を見つめ深める) ねらい: かかわりの視点から自分の心を見つめとらえ直し、ありたい自分の姿に気付く	・心のファイル ・作文 ・手紙	<ul style="list-style-type: none"> <li>・責任を果たすと気持ちがいい</li> <li>・責任を果たすことで成長する</li> <li>・下級生に喜ばれるように責任を果たす</li> <li>・友だちのように責任を果たす自分になりたい</li> <li>・最高学年として手本となるように責任を果たす自分になりたい</li> </ul>	
事後 体験・ 日常生活	6. 縦割り班・委員会・クラブ活動 自己評価 (自分をみがく) ねらい: かかわりの視点から道德の時間で自覚した価値の実践を行っている自分の姿やありたい自己に気付き実践力をみがく  保護者の評価 ねらい: 保護者から見た最近の自分のがんばりに気付く 7. 運動会【学校行事】 8. ふれあいフェスタ【学級活動】	・心のファイル  ・作文	<ul style="list-style-type: none"> <li>・下級生に喜ばれるように責任を果たす自分</li> <li>・最高学年として手本となるように責任を果たす自分</li> <li>・友だちのようにいつでも責任を果たす自分</li> <li>・最近の自分は、弱い心に負けずに責任を果たしている</li> </ul>	

4 本時の指導

(1) ねらい

高学年としての自分の役割を自覚し，自分とのかかわりの視点から在りたい自己に気付き，希望をもって責任を果たそうとする態度を育てる。



(2) 展開

学 習 活 動	予想される児童の反応	教師の働きかけ
<p>1 保護者の評価と自己評価の比較を通して学習課題をつかむ。 グラフを見よう</p> <div style="border: 1px solid black; padding: 5px; width: fit-content; margin: 10px auto;">責任って・・・</div>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・おうちの人の見方と自分の見方にずれがある</li> <li>・自分はそんなに責任を果たしていない</li> <li>・自分は精一杯やっている</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・事前の自己評価と保護者の評価をグラフにして，意識のずれを指摘し，責任を果たすことに課題意識をもてるようにする。</li> </ul>
<p>2 資料「6年生の責任」を読み話し合う。</p> <p>登校班の班長として「私」はどんなことを考えていたでしょう。</p> <p>「私」の気持ちが変わったのはなぜだろう。</p>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・下級生を注意しても言うことをきかないからいやだ</li> <li>・6年生はとても大変だ</li> <li>・面倒くさい</li> <li>・班長の言うことを下級生も少しはきいてほしい</li> <li>・注意されてわりに合わない</li> <li>・悪くなくても6年生のせいになってしまうことがあるからいやだ</li> <li>・今までの6年生も頑張っていたから</li> <li>・最高学年としてみんなのために頑張ろうと思った</li> <li>・責任を果たすことは大切なことだから</li> <li>・下「いつもありがとう」</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・本人には作文を読むことを事前に確認しておく。</li> <li>・自分たちの体験でのくじけそうになる気持ちを想起させる。</li> <li>・自分の気持ちと重ね合わせて考えられるよう心のファイルで確認する。</li> <li>・自分の中の弱い気持ちに気付かせる。</li> <li>・面倒くさいという弱い気持ちを乗り越えた筆者の気持ちの動きを，自分に重ね合わせて共感的に考えることができるようにする。</li> </ul>
<p>3 かかわりの視点から自己をとらえる。</p> <p>役割演技 役割演技をしてみよう。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・演技</li> <li>・インタビュー</li> </ul> <p>自主的に責任を果たそうと思ったのはどんな心の力だろう。</p> <p>なるほどなと思った意見にネームカードを貼ろう。</p>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・親「6年生のおかげで安心してお願いできる」</li> <li>・6「頼られるとうれしい」</li> <li>・下「班長さんは優しく面倒見てくれるから大好き」</li> <li>・親「いつもありがとう」</li> <li>・6「もっと頑張ろう」</li> <li>&lt;自分自身&gt;</li> <li>・頼られると気持ちがいいな</li> <li>・責任を果たすことは大切だ</li> <li>&lt;下級生&gt;</li> <li>・下級生から頼られるといい気持ち</li> <li>・尊敬してくれるかな</li> <li>&lt;学校・学年&gt;</li> <li>・学校の一員だからみんなのために働きたい</li> <li>・良い伝統を作りたい</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・6年生・下級生・親と役割演技を行い，それぞれの立場から会話をしてもらい，そのときの自分の考えを意識できるようにする。</li> <li>・自分の考えと友だちの考えの違いに気付かせる。</li> <li>・「自分自身」「他の人とのかかわり」「集団とのかかわり」から考えを整理し，自己のとらえを広げることができるようにしたい。</li> <li>・事前の自己評価により心の動きをとらえておき，意図的に指名する。</li> <li>・ネームカードは複数貼ってもよいことを告げる。</li> </ul>

<p>大切にしたいことを話し合う。人間にとって責任を果たすこととはどんなことなのだろう。</p> <p>4 自分の心と対話をする。 6年生の責任を果たすことについて自分の心を静かに見つめましょう。</p>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・一人一人にできる役割がある</li> <li>・責任があるから成長する</li> <li>・社会を支えていく大切なもの</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・自己評価 を活用しかかわりの視点から、自分の心を見つめ、ありがたい自分に気付かせる。</li> </ul>
--	--	---

「輝け！6年生の責任心」

2 委員会やクラブをふり返り、自分の目標に対してどんな気持ちですか。  
【自分の現在の思い】

ア道徳的価値の自覚の深まりが高い  
イ道徳的価値の自覚の深まりがやや高い  
ウ道徳的価値の自覚の深まりがやや低い  
エ道徳的価値の自覚の深まりが低い

3 6年生の責任について友だちの考えや主人公の姿で気付いたことや心に強く残ったことはどんなことでしょうか。  
【様々な道徳的価値の気づき】

ア道徳的心情・他者理解より  
イ道徳的心情・人間理解より  
ウ道徳的判断力・他者理解より  
エ道徳的判断力・人間理解より  
オ道徳的実践意欲・自己理解より  
カ道徳的実践意欲・自己理解より  
キその他

4 授業を終えて責任を果たすことについてどのような自分でありたいですか。  
【これからありたい自分】

ア自分自身とのかかわりから価値の自覚を深めた意見  
イ他の人とかかわりから価値の自覚を深めた意見  
ウ他の人とかかわりから価値の自覚を深めた意見  
エ集団や社会とかかわりから価値の自覚を深めた意見  
オその他

<p>5 今日の学習で責任を果たすことについて考えたことをまとめる。 各自  下級生からの手紙を読む</p>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・希望をもって責任を果たしたい</li> <li>・頼られる6年生になりたい</li> <li>・みんなのために責任を果たしたい</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・自分自身で気付いたことを自由に発表させる。</li> <li>・下級生からの感謝の手紙を紹介する。 6年生に助けられ、感謝する下級生の手紙を読み、希望をもたせて終末とする。</li> </ul>
--	--	---

5 評価  
高学年としての自分の役割を自覚し、自分とのかかわりの視点からありがたい自分に気づき、希望をもって自分の責任を果たそうとする自己をとらえたか。  
(自己評価, 発表)